

城南家保ニュース Vol.22-6

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/179/>



研修会・講習会の開催について！

1 平成 22 年度 家畜衛生技術研修会及び地域家畜衛生推進会議について

8 月 11 日に当所で開催しました。なお、参加者は44名(県2名、市町村12名、団体9名、開業獣医師14名)でした。

(1) 家畜衛生技術(口蹄疫関連)研修会

- ① 城南家保の防疫対応
- ② 宮崎県における発生状況及び防疫対応
- ③ 症状と診断方法等
- ④ 埋却地の選定

(2) 地域家畜衛生推進会議

- ① 平成 21 年度家畜保健衛生所事業成績
- ② 家畜伝染病の発生状況について
- ③ オーエスキー病の清浄化
- ④ 平成 22 年度家畜保健衛生所事業計画



* 口蹄疫の概要及び最新の情報等について出前講座を実施します。
ご要望の際は、お早めに城南家畜保健衛生所までご連絡をお願いします。

2 平成 22 年度 熊本県支部鶏病技術研修会について

8 月 27 日に熊本県支部鶏病技術研修会が実施されました。家畜保健衛生所及び化学及び血清療法研究所から計 4 題の話題提供があり、発表後には、微生物化学研究所の扇谷年昭先生を迎え「鶏大腸菌症とリポゾームワクチン」と題し特別講演が行われました。鶏大腸菌症は、養鶏業界において最も被害の大きい疾病です。鶏舎の塵埃中にも大腸菌は存在するため、予防には免疫抑制、ストレス過多、喚起不良など病気の誘発要因の特定・排除及び衛生管理が最も重要となります。

3 平成 22 年度放牧管理技術講習会について

9 月 7 日に放牧飼養管理について講習会があさぎり町せきれい館において開催さ

れました。九州沖縄農業研究センターから周年放牧研究チームの山田明央氏を迎え「放牧地における牧草の管理法について」講演が行われ、熊本県城南家畜保健衛生所からは、村上参事が「放牧における衛生対策について」と題し、放牧のメリット・デメリット及び放牧病など、放牧について基礎からの内容を講演しました。

(1) 放牧のメリット

- ・ 牛の健康増進
- ・ 飼料代の削減
- ・ 作業の省力化、コスト低減：
飼料給与、糞尿処理
- ・ 母牛の能力改善：
繁殖成績の向上、耐用年数の延長
- ・ 中山間地並びに耕作放棄地の活性・活用

(2) 放牧のデメリット

- ・ 転落などの事故死
- ・ 牛の運搬、餌やりの手間
- ・ 検査・種付け作業での捕獲の必要
- ・ 放牧病の発生

(3) 放牧病について

・小型ピロプラズマ病

ダニが媒介する寄生虫(原虫)により貧血を起こす

ダニ対策: 外部寄生虫忌避剤を 2~3 週間毎に牛の背部に投与(プアオン法)

・牛白血病

アブなどの媒介昆虫により血液を介して感染
対策: 抗体検査、プアオン法による外部寄生虫駆除

・有毒植物による中毒:

ワラビ、アセビ、レンゲツツジ、オナモミ、センダンなど

・熱中症: 新鮮な水・飼料の供給やビタミン・ミネラルの添加、

日中の放牧は日陰の牧区へ

4 その他: 宮崎県における口蹄疫について

8月27日には、発生農場及びワクチン接種区域に残されていたたい肥等の汚染物品の処理が終了しました。このため、清浄性確認のためサーベイランス(臨床検査及び血清抗体検査)を宮崎県内の牛飼養農場(150戸)を対象として、9月6日から順次開始されています。

しかし、近隣アジア諸国を含め海外では引き続き口蹄疫の発生がみられるため、日本において再び口蹄疫が発生する可能性があります。今後とも、消毒等の防疫対策の徹底に努めてください。



家畜の異常等がみられましたら、家畜保健衛生所までご連絡下さい!